

平成 28 年度大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）

フィールドワーク in わかやま支援事業

【 募 集 ・ 実 施 要 項 】

**和歌山県内をフィールドとした  
複数の大学等の学生による  
共同研究活動を支援します！**

○【応募書類の受付期間】

**平成 28 年 7 月 1 1 日（月）～同年 7 月 2 2 日（金） 17 時（必着）**

☆提出先 応募者（研究代表者）が在学する機関の高等教育機関  
コンソーシアム和歌山担当部署

○【お問い合わせ先】

高等教育機関コンソーシアム和歌山事務局

〒640-8510 和歌山市栄谷 930 番地

国立大学法人和歌山大学 総務課内

Tel. 073-457-7102(担当；小田) Fax. 073-457-7000

E-mail w-conso@center.wakayama-u.ac.jp

平成 28 年 6 月

高等教育機関コンソーシアム和歌山

本募集・実施要項には、採択後の手続き等も含めて記載していますので、採択された後も大切に保存ください。

## 【目次】

I	本事業の概要	(頁番号)
1.	目的及び事業内容	1
2.	応募資格	1
3.	研究課題	1-2
4.	研究期間	2
5.	助成対象経費	2
6.	助成金額	2
7.	助成の条件	2-3
8.	審査・選定方法	3
9.	助成の内定	4
10.	助成の決定	4
11.	助成金の交付	4
12.	研究内容の変更、中止又は廃止	4
13.	実績報告及び添付書類	4-5
14.	研究成果の公表	5
	【参考1】研究成果活用型研究(研究A)について(補足)	6-8
	【参考2】大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)における調査・研究テーマ例一覧	8
II	応募手続き等について	
1.	応募(申請)資格者	9
2.	応募手続き	9
	(1) 応募用紙	
	(2) 提出書類及び提出部数	
	(3) 受付(提出)期限及び提出先	
3.	応募(提出)書類の記入要領	9-12
	(1) 全般的事項	
	(2) 応募(提出)書類の記入要領	
	【助成の対象とならない経費】	12
4.	その他	12
III	助成内定時の申請手続き等について	
1.	助成内定について	13
2.	助成内定の時期	13
3.	申請手続き	13-14
4.	申請及び請求書類の記入要領	14
IV	研究内容の変更、中止又は廃止の承認申請手続き	
1.	変更、中止又は廃止について	15
2.	承認申請手続き	15-16
V	研究終了後の実績報告手続きについて	
1.	実績報告について	17
2.	実績報告手続きについて	17
VI	研究成果の公表等について	18
VII	事業スケジュール	19

### II <応募書式>

- ①大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成申請書 . . . . . P. 20
- ②計画書(その1・2) . . . . . p. 21-22
- ③収支予算書 . . . . . P. 23

### III <助成内定時の申請書式及び請求書式>

- ①大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成申請書 . . . . . P. 20
- ②計画書(その1・2) . . . . . P. 21-22
- ③収支予算書 . . . . . P. 23
- ④大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成金請求書(精算払い) . . . P. 24
- ⑤大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成金請求書(概算払い)  
[記入例 . . . P. 26-27] . . . . . P. 25
- ⑥大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成費支出計画書  
[記入例 . . . P. 29] . . . . . P. 28

### IV <研究内容の変更、中止又は廃止時の申請書式>

P. 30-31 (※詳細は必要時に通知)

### V <研究終了後の実績報告書式>

- ①大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)助成実績報告書 . . . . . P. 32
- ②研究実績書(その1・2) . . . . . P. 33-34
- ③収支決算書 . . . . . P. 35
- ④研究成果報告書 . . . . . P. 36

# I 本事業の概要

## 1 目的及び事業内容

学生と地域との交流の促進や地域との交流を通じて地域に想いをもつ若者を育てると共に学生のコミュニケーション力や問題解決力・応用力・実践力等を養うことを目的とし、高等教育機関コンソーシアム和歌山（以下「コンソーシアム」という。）に加盟する複数の高等教育機関の学生が、多様な学問分野で得た知的資源を結集・連携し、和歌山県内をフィールドとして、地域がかかえる課題解決や地域の魅力発見のための調査・研究、実践活動等に向けた提案などを目的とするフィールドワーク研究を支援し、研究で得た成果を地域に報告・提案することにより地域での活用・実践等による地域の活性化に貢献します。

## 2 応募資格

コンソーシアムに加盟する複数の高等教育機関に学ぶ学生3名以上により応募してください。なお、グループの形態は問いませんが、コンソーシアム加盟機関の教員1名以上を指導教員(注)とすることを要件とします。

※ 複数の高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）に在学する学生3人以上で実施するグループ研究です。

※(注)指導教員には、「代表指導教員」として、必ず研究代表者が在学する加盟機関の教員を含めてください。

## 3 研究課題

募集対象とする研究課題（テーマ）は、次の3分類の何れか1つ以上に該当するものとします。

### ①研究成果活用型研究（研究A）

コンソーシアムが実施する大学等地域貢献促進事業における共同研究の成果を受けて、その成果の地域での普及や活用・実践等に繋がる研究、また、当該共同研究に新たな視点などを投じる等の研究。

※ 共同研究事業の内容や研究成果等については、以下にリンクして参照してください。

（コンソーシアムホームページ）

<http://www.consortium-wakayama.jp/promotion.html>

または

（和歌山県ホームページ）

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/daiigaku/ichiran2.html>

※ 研究成果活用型研究（研究A）のテーマ設定については、P.6-8の「研究成果活用型研究（研究A）について（補足）」を参照してください。

### ②地域課題対応型研究（研究B）

自治体や地域団体等から提案のあった課題やテーマ、又は、地域が取り組んでいる課題やテーマについて自治体等や地域と協働で取り組む研究。

※ 自治体や地域団体からの提案課題やテーマについては、応募グループ自らで募ること。

### ③自主活動型研究（研究C）

地域が抱えている課題や地域に潜在する課題について応募グループ自らがテーマを設定し、地域の中で自主的に取り組む活動で、地域と連携して課題解決を目指す調査や研究。

※ 研究課題（テーマ）の例については、P. 8 の「大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）における調査・研究テーマ例一覧」に記載していますので、参考にしてください。

## 4 研究期間

平成28年度内とする。

※研究開始時期は、和歌山県の補助金の交付決定以降で、10月上旬頃を予定しています。

## 5 助成対象経費

研究の遂行及び研究結果の取りまとめに直接必要な経費とし、謝金、交通費、消耗品費、材料費、通信費、会場使用料、傷害保険料、その他研究の遂行に必要と認められる直接的な経費に限ります。但し、賃金、備品（3万円以上）購入費、飲食費及び研究目的から外れる経費は助成対象となりません。

※詳細は、P. 11-12 の「ウ 収支予算書[別記第3号様式、P. 26]について」の「(イ) 支出の部」に記載しています。

## 6 助成金額等

1研究につき20万円以内とし、助成金総額は100万円を予定しています。（注）

※（注）助成額は事業予算の範囲内の額となりますので、申請額全額でなく、その一部を助成する場合があります。なお、この場合は、研究代表者宛に「助成額で研究が可能かどうか」照会します。

## 7 助成の条件

助成の条件は次のとおりです。

- (1) 3月中旬頃に開催予定の研究成果報告会に研究代表者又は共同研究者が必ず1名以上出席し、研究成果について発表すること。
- (2) 次のア～ウに掲げる事項のいずれかに該当する場合には、助成研究の内容変更申請書（5号様式、P. 30）または助成研究の中止・廃止申請書（別記第6号様式、P. 31）により、あらかじめコンソーシアムの承認を受けること。
  - ア 研究内容を変更しようとする場合
  - イ 研究経費の配分の変更（研究助成額の20%以下の増減を除く。）をしようとする場合
  - ウ 研究を中止又は廃止しようとする場合
- (3) 研究が予定の期間内に完了しない場合又は当該研究の遂行が困難となった場合においては、速やかに報告して指示を受けること。
- (4) 研究により取得し、または効用の増加した財産については、研究の完了後におい

ても善良な管理者の注意をもって管理するとともに、その効率的な運営を図らなければならない。

- (5) 助成金の収支に関する帳簿を備え、領収書等関係書類を整理し、並びにこれらの帳簿及び書類を助成金の交付を受けた年度終了後5年間保管しなければならない。
- (6) コンソーシアム及び和歌山県は、助成対象となった研究の計画書、収支予算書、研究実績書、収支決算書、研究成果報告書の要旨、研究成果報告書、研究成果の概要ポスターについて公表することができるものとする。
- (7) 研究代表者及び共同研究者は、研究成果の有効な活用に努めること。また、本助成事業の目的である和歌山県の活性化に寄与すべく、県下で開催される産業フェア等の各種イベントにおいて積極的に発表や展示を行うこと。なお、研究成果を発表する場合は、コンソーシアム及び和歌山県から補助金の交付を受けた旨を明らかにすること。

## 8 審査・選定方法

学識経験者等で構成する審査会での書類審査及び必要に応じプレゼンテーションによる審査を行います。プレゼンテーションは、研究代表者又は共同研究者が必ず1名以上出席して行っていただきます。 ※平成28年度は、プレゼンテーション審査は実施いたしません。

審査・選定基準は、以下のとおりですので参考として下さい。

※審査結果の詳細（順位、評価点など）は、公表しません。

### 審査・選定基準

- (1) 研究課題の必要性
  - ①【研究ニーズの明確性及び将来性】
    - ・研究ニーズの存在とニーズの内容が具体的であること。
    - ・研究ニーズが今後も見込めること。
  - ②【緊急性・公共性・公益性・施策関連性】
    - ・問題点が明確で、課題解決の優先度が高いこと。
    - ・研究の実施が県民のメリットになること。
    - ・県の推進施策とマッチしていること。
- (2) 研究計画の妥当性
  - 【研究計画・研究目標】
    - ・研究計画、目標設定が具体的で適正であること。
    - ・研究手段が適正であること。また研究期間内での目標達成が可能であること。
- (3) 期待される研究成果
  - ①【研究成果】
    - ・目標とする研究成果が達成可能なものであること。
    - ・研究成果が具体的に設定されていること。
    - ・基礎研究の場合、実用化研究への活用見込みがあること。
  - ②【普及・活用の可能性】
    - ・普及・活用が見込まれること。
    - ・普及・活用の内容・手段が具体的であること。
    - ・行政施策への活用、県民生活や社会への貢献が見込まれること。

## 9 助成の内定

審査の結果（採択・不採択の別）は、全ての申請者（研究代表者）に通知します。また、助成金の交付を内定した研究代表者には、助成内定の旨及び助成予定額、助成内定に伴う必要書類の提出等について通知します。

## 10 助成の決定

内定後に必要書類の提出を受け、助成対象の研究として適当と認められた場合は、助成決定の旨及び助成決定額等を研究代表者に通知します。

## 11 助成金の交付

助成金は、研究代表者からの請求に基づき、研究代表者の在学する機関に交付します。

助成金の交付には「精算払い」と「概算払い」がありますが、研究の性質上、研究に着手する前または研究の途中で助成金の交付を必要とする場合は、「概算払い」とすることができます。

## 12 研究内容の変更、中止又は廃止

助成決定後～研究終了までに研究内容を変更、中止又は廃止する場合には、承認申請手続きを必要とします。

なお、研究内容の変更、中止又は廃止に伴い、未使用の助成金はもちろん、使用済みの助成金について返納又は一部返納を行っていただくことがあります。

※詳細は、P. 15-16の「IV 研究内容の変更、中止又は廃止の承認申請手続き」をご覧ください。

## 13 実績報告及び添付書類

研究代表者は、研究終了後30日以内又は助成を受けた翌年度の4月5日のいずれか早い日までに、以下の書類等により研究成果の報告をしていただきます。

なお、コンソーシアムが必要と認められた場合は、中間報告をしていただく場合があります。

- (1) 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成実績報告書（別記第7号様式、P. 32）
- (2) 研究実績書（別記第8号様式、P. 33-34）
- (3) 収支決算書（別記第9号様式、P. 35）
- (4) 研究成果報告書（別記第10号様式、P. 36）
- (5) 研究成果の概要ポスター（研究内容や成果、活用計画を記載又は図解したもの、A4又はA3版、カラー版を基本とし、様式は任意とする。）1枚

※補足；研究発表の時のポスターと考えていただければ結構です。

※ (4)、(5)については電子データも併せて提出して下さい。

(5)について、研究成果報告についてはホームページで公開しますが、本ポスター

については「研究成果の公表(仮称)」として、地域への発信と地域での活用を目的とし、「実績報告書」に記載の活用計画に照らし、関連する県下の企業・自治体・団体等に向け発信(郵送等による)します。

## 14 研究成果の公表

助成対象となった研究については、研究の概要や研究成果の内容を、コンソーシアムや県のホームページ等で公表すると共に、コンソーシアム和歌山から県下の関係企業・自治体・団体等に向け発信(郵送等による)します。

また、一般公開の研究成果報告会(注)を開催し、研究代表者又は共同研究者が必ず1名以上出席し、研究成果について報告していただきます。

※(注)この報告会は、審査会(優秀グループの表彰など)を含む場合があります。

## 【参考1】

### 研究成果活用型研究(研究A)について(捕捉)

#### 【研究成果活用型研究(研究A)】

高等教育機関コンソーシアム和歌山が実施する大学等地域貢献促進事業における共同研究の成果を受け、その成果の地域での普及や活用・実践等に繋がる研究、また当該共同研究に新たな視点などを投じる等の研究。

#### ■ 研究事例1

平成25年度採択テーマ「食と農の学校運営による若年者育成モデルの開発」の成果や今後の課題等を受けて、本研究代表者の指導やアドバイスを仰ぐなどにより実施する。

##### ◇アプローチその1

・「食」をキーワードとして「地域資源活用講座スキル講座」を実施(本研究)



・「水」「木材」などの自然資源を活用した生活技術に関するスキル講座へのアプローチ

##### ◇アプローチその2

・「地域資源活用講座スキル講座」で得た地域受講者の意識として、学習で得た知識の「飲食業や、観光業の起業等への応用」が意識されていない。また、「地域への還元に対する意識が少ない。単に自分へのフィードバックに留まっている。」(報告書より)



・受講済みの地域において、上記の原因やニーズについて、ヒアリングなど地域住民との交流を通じて、その背景にある生活環境等の諸事情も含め調査・研究する。

##### ◇アプローチその3

・農村をフィールドとした研究(本研究)



・本研究のノウハウ等を基にして漁村をフィールドとした調査・研究

##### ◇アプローチその4

・紀南地域をフィールドとした調査・研究(本研究)



・紀北、紀中をフィールドとした調査・研究 ※本研究の他地域版+自主発想

#### ■ 研究事例2

平成25年度採択研究テーマ「紀南地域のジオコンテンツと文化・精神性との関連性の探求とフィールドガイド養成のための教材開発」の成果や今後の課題等を受けて、本研究代表者の指導やアドバイスを仰ぐなどにより実施する。

#### ◇アプローチその1

- ・フィールドガイドのための自習用基本テキスト(本研究成果)



- ・本研究で取り扱うことのできなかった食文化や特産品との関連を取り込んだ本研究成果テキストのストーリーの再構築に向けた南紀熊野における食文化や特産品についての調査・研究を行う。

#### ◇アプローチその2

- ・南紀熊野には様々なジオサイトやそのコンテンツが散在するが、これ等を具体的なジオツアーにまとめるには更なる情報の蓄積が必要であり、情報の利用法も含めまだまだ発展できる可能性を秘めている。(報告書より)



- ・本研究成果のテキスト作成において未調査の南紀熊野に散在するジオサイトやそのコンテンツについての調査及び情報収集。

#### ◇アプローチその3

- ・平成26年度

改定第2版(200部製作)、南紀熊野ジオパーク推進協議会によるジオパークガイド養成講座で推奨テキストの一つとなる、推奨テキストのオンライン版を提供、ジオパークガイド養成講座受講生が利用。

今後は、ジオパークガイドの現場の声を採りいれながら、利用し易いガイド向けテキストに改訂する。(以上、報告書より)



- ・現時点でのテキストの利便性等について、ジオパークガイド、可能であれば語り部やエコツアーガイドまで広げて現場、あるいはネット活用等も含めヒアリング調査を行い、改善点等について提案する。

#### ◇アプローチその4

アプローチ1~3までのミックス型

### ■ 研究者による研究と学生によるものとの相違点

#### 1. 研究分類でみた教員が研究対象とする地域課題

##### ①自然科学系

新技術(紀州材の加工、水産品・農産品の加工処理)、新製品等(梅、柿、みかん等の加工食品、健康食品・薬品等)の創出に係る研究・・・自然科学系

##### ②社会科学系

研究・・・上記以外の地域課題(生活、子育て、過疎、農産品の流通)についての研究

#### 2. 学生が研究対象とできる研究課題

##### ①自然科学系

大学院生レベルでの研究力が必要。一般的にチャレンジレベルの研究のため、補助金のような生きた成果を期待するものにはなじみ難い。

②社会科学系

学生レベルでも地域での調査等(情報収集、分析、報告・提言・提案)には充分耐えられる。

3. 研究を通じて求めるもの等(社会学系に限定して比較)

①教員に求めるもの

・地域課題の解決等、地域の活性化に繋がる研究成果と研究活動を通じた派生効果

②学生に求めるもの、あるいは派生的効果

- ・地域課題の解決等、地域の活性化に繋がる研究成果と研究活動を通じた派生効果(基本)
- ・研究者では突っ込みがたい(プライド)地域へのアプローチによるニーズや実態の掘り起こし(方法論による相違点)
- ・調査・研究を通しての地域の魅力発見 (Iターン、Uターン)
- ・若者目線での地域課題解決策の提案や新たな発見やアプローチ
- ・目的意識をもつての地域の他年代層との接触を通じた気付きと発見による学習効果
- ・地域住民への学習意欲やチャレンジへの喚起
- ・報告・提案・公表等を通じた情報の広がり(ライン、ブログ)※研究者レベルでは一般的に報告会冊子の配布レベルの狭域にとどまる場合が多い。

【参考2】

大学等地域貢献促進事業(学生共同プロジェクト研究)における調査・研究テーマ例一覧

これは、高等教育機関コンソーシアム和歌山加盟の複数機関の学生グループによる調査研究等が想定されるテーマ例を挙げたものです。

- ・〇〇市町村中心市街地の回遊性についての研究
- ・〇〇地区農産物の販路拡大等に関する調査・研究
- ・〇〇地区農地・畑地での外来品種作物の栽培について
- ・「大学生のUターン就職に向けた行政施策・地域施策」の調査研究
- ・高齢化が進む中山間地域における地域で支える公共交通等のあり方
- ・〇〇市町村の特産品を生かした「お土産」の商品開発や広報・販売戦略
- ・〇〇市町村の観光に係る課題と解決にむけての分析
- ・〇〇地域の資源発掘と資源を生かした街づくりー観光客の客層に応じた観光マップの試作と提案
- ・〇〇地域の伝承文化(お祭り等)の再生ー地域ぐるみの子育てを目指して
- ・世代間交流(高齢者・学生)の相互効果と過疎地活性化に及ぼす影響について
- ・公民館活動への若者参加と地域の活性化
- ・〇〇市町村の観光パンフレットの多国語版(英語、中国語、韓国語等)パンフレットの試作
- ・〇〇市町村の広報宣伝のICTを用いた効果的発信についての調査・研究
- ・若者目線による〇〇市町村商店街の現状・課題・可能性
- ・和歌山県下(〇〇地域)における公共交通の現状や課題と今後について
- ・〇〇地域における弱者を支える仕組みの現状調査と提案
- ・〇〇市町村の観光客増対策の調査と新たな提案
- ・中山間村地域等の食事情と健康・寿命・食環境についての考察と提言

## II 応募手続き等について

### 1 応募（申請）資格者

#### (1) 応募資格者

コンソーシアムに加盟する複数の高等教育機関に学ぶ学生3名以上により応募してください。なお、グループの形態は問いませんが、コンソーシアム加盟機関の教員1名以上を指導教員(注)とすることを要件とします。

※ 複数の高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）に在学する学生3人以上で実施するグループ研究です。

※(注)指導教員には、「代表指導教員」として、必ず研究代表者が在学する加盟機関の教員を含めてください。

#### (2) 申請資格者

コンソーシアムに加盟する機関に在学する学生で研究代表者となる者

※研究代表者となった場合は、本事業において別の研究課題（テーマ）で研究代表者として申請することはできません。

### 2 応募手続き

#### (1) 応募用紙

・ 応募用紙（様式）は、コンソーシアムのHPでダウンロードしてください。

<http://www.consortium-wakayama.jp/promotion.html>

※表紙に記載の「お問い合わせ先」のアドレス宛にメールにて依頼いただいても結構です。

- ・ 提出された書類はお返ししませんので、各自控えを保管しておいてください。
- ・ 提出後、研究内容の把握等で追加の資料を提出していただくことがあります。

#### (2) 提出書類及び提出部数

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成申請書[別記第1号様式、P.20]、4部

※1部は研究代表者印及び代表指導教員印のあるもの、他3部はそのコピーとする。

イ 計画書[別記第2号様式（その1・その2）、P.21-22]、4部

ウ 収支予算書[別記第3号様式、P.23]、4部

#### (3) 受付（提出）期限及び提出先

◇受付（提出）期限

平成28年7月11日（月）～平成28年7月22日（金）17時（必着）

◇提出先

申請者（研究代表者）が在学する機関（大学、短期大学、高等専門学校）のコンソーシアム担当部署

※在学する機関を通じてコンソーシアム事務局に提出していただきます。

### 3 応募（提出）書類の記入要領

#### (1) 全般的事項

・ 申請する研究分野の専門家以外にも内容がわかるよう、できるだけ平易に表現して

ください。

- ・必要書類はパソコン等を利用し、わかりやすく記入するとともに、各項目において矛盾がないかどうか確認、検算のうえ提出してください。
- ・計画書、収支予算書の記入スペースが不足する場合は、別途A4版の用紙を縦置で使用して添付してください。

(2) 応募（提出）書類の記入要領

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成申請書[別記第1号様式、P.20]について

応募等に関する連絡については、基本的には e-mail により行いますが、**電話番号（急な連絡時）**についても必ず記入してください。

イ 計画書[別記第2号様式、P.21-25]について

計画書は、「その1」と「その2」があります。タイトル右の（変更後）という記載は、採択後に計画変更等があった場合に使用するものですので、申請時は二線で消してください。また、「その1」「その2」の各書式については必ずしも1面に収める必要はありませんので、必要に応じ各枠を広げていただいて結構です。

【計画書の各欄の記入について】

イ-1 「分類番号」及び「研究課題」

研究課題は、下記の「研究課題（テーマ）分類」に記載の分類番号1～3の内、いずれか（複数に該当する場合も可）に即した分類番号及び研究課題を申請者で設定し記入してください。

分類番号	研究分類	備考
1	研究成果活用型研究 (研究A)	コンソーシアムが実施する大学等地域貢献促進事業における共同研究の成果を受けて、その成果の地域での普及や活用・実践等に繋がる研究、また、当該共同研究に新たな視点などを投じる等の研究。
2	地域課題対応型研究 (研究B)	自治体や地域団体等から提案のあった課題やテーマ、又は、地域が取り組んでいる課題やテーマについて自治体等や地域と協働で取り組む研究。
3	自主活動型研究 (研究C)	地域が抱えている課題や地域に潜在する課題について応募グループ自らでテーマを設定し、地域の中で自主的に取り組む活動で、地域と連携して課題解決を目指す調査や研究。

イ-2 「研究代表者」

研究代表者は、コンソーシアムに加盟する機関（大学、短期大学、高等専門学校）に在学する学生です。研究計画を遂行する研究グループを代表し、研究計画の遂行（研究結果の取りまとめを含む。）に関して全責任を持つ者が「研究代表者」となります。

イ-3 「助成実績」

研究代表者として、過去に本促進事業の助成を受けたことがある場合に記入してください。

イ-4 「研究グループ」

研究代表者及び共同研究者について記入してください。研究代表者につい

ては、役割分担の欄のみ記入してください。

共同研究者の少なくとも1名は、研究代表者の在学する機関以外のコンソーシアムに加盟する機関に在学する学生であることが必要です。共同研究者の役割分担を明確・簡潔に記入してください。

#### イ-5「指導教員」

指導教員について記入してください。

指導教員の少なくとも1名は、「代表指導教員」として、研究代表者の在学する機関の教員であることが必要です。

イ-6「研究の概要」「見込まれる研究成果」「研究対象とするフィールド又は連携・協働する自治体・地域等」「これまでの地域での研究実績」「実施計画・方法」を、それぞれ研究計画書の所定の欄に記載の指示に従って記入してください。

#### イ-7「本研究の補足説明」

必ず代表指導教員に、所定の欄に記載の指示に従って記入してもらってください。

### ウ 収支予算書[別記第3号様式、P. 23]について

#### (ア) 収入の部

##### a 助成金

この研究の助成申請額を記入してください。

##### b その他

研究することにより収益が発生する場合に、その収益額を概算で記入してください。また、当該研究について、国及び他の団体から補助金を受けている場合には、この欄に記入してください。当該研究について、これら以外の収入がある場合にも、その収入額を記入してください。

#### (イ) 支出の部

助成の対象となる経費は、研究の遂行や研究結果の取りまとめに直接必要な次のa～eの経費（※対象とならない経費については、次ページに記載）に限ります。なお、謝金及び旅費の積算単価については、経費の執行を行う機関の規定単価によります。

##### a 謝金

謝金とは、研究の遂行に際し、外部講師に対する講演料、研究に関する指導・助言の協力を得た人への謝礼に要する経費です。内訳欄には、謝礼の対象となる労務の内容ごとに、1日または1時間あたりの単価、人数、日数または時間数、支払予定額を記入してください。

##### b 旅費

内訳欄には、旅行用務ごとに、用務地、人数、日数（回数）、旅費予定額などを記入してください。旅行用務は、調査・研究旅費、研究打合せ旅費等に区分してください。

##### c 消耗品費

内訳欄には、内容のわかる物品分類ごとに、単価、個数、支払予定額などを記入してください。

##### d 印刷製本費

内訳欄には、印刷物ごとに、単価、枚数、支払予定額を記入してください。写真の現像・焼き付け・引伸料などは、まとめて記入してください。

e その他

研究を遂行するために直接的に必要な通信費、会場使用料、傷害保険料等上記以外の経費を記入してください。内訳欄には、経費ごとに、内容、支払予定額などを記入してください。

**【助成の対象とならない経費】**

研究の遂行及び研究結果のとりまとめに直接必要な経費を助成対象としています。したがって、次の(1)～(8)に掲げるような経費は助成対象とはなりません。

- (1) 建物等施設整備及び修繕に関する経費
- (2) 雇用関係が生じるような月極の給与、退職金、ボーナスその他各種手当
- (3) 机、椅子等の什器類を購入する経費
- (4) 外国への出張旅費及び外国で使用する経費（研究の遂行に直接必要な場合は除く）
- (5) 学会費（会員資格取得等のための年会費や学会誌費等をいう）
- (6) 学会出席のための参加費（資料代含む）及び旅費（研究の遂行に直接必要な場合は除く）
- (7) 備品購入費

**【備品の定義】**

ここでの「備品」とは、取得価額が3万円以上のものをいいます。但し、次のア及びイの場合は3万円以上であっても各機関が定める備品の管理（取扱）基準等の範囲内で消耗品とすることができます。

ア 耐用年数が1年未満のもの

イ 研究上の用途及び使用方法などから1年以上の利用又は使用に絶えないもの

※（注）；上記の但し書により、消耗品として予算計上する場合は、その理由を簡潔に付記してください。不明な点があればコンソーシアム事務局までお問い合わせください。

- (8) その他この助成金による研究に直接関連性のない経費（パソコン、プリンタ等の一般事務用機器、光熱水料等の間接経費等）

## 4 その他

本助成では、採択審査時のプレゼンテーション、経費の用途制限、助成の条件、研究計画の変更、中止又は廃止に伴う助成金の返納等の条件や義務が伴いますので、応募に当たっては本募集・実施要項全般を充分理解いただいた上で応募下さい。

### Ⅲ 助成内定時の申請手続き等について

#### 1 助成内定について

審査の結果（採択・不採択の別）は全ての申請者（研究代表者）に通知します。また、助成内定者には、助成内定額、助成条件、提出書類、提出期限等について通知しますので、応募時に提出した申請書等について助成内定額及び助成の条件に合わせて、再作成の上で提出していただきます。

#### 2 助成内定の時期

助成の内定通知は9月下旬を予定しています。

#### 3 申請手続き

助成内定に伴い、「助成決定に係る申請書類」及び「助成費の交付に係る請求書類」を提出していただきます。

##### (1) 助成決定に係る申請書類及び提出部数

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成申請書[別記第1号様式、P.20]、4部

※1部は研究代表者印及び代表指導教員印のあるもの、他3部はそのコピーとする。

イ 収支予算書[別記第3号様式、P.23]、4部

※（注）応募時に提出済みの「計画書」（別記第2号様式、その1・2）について、計画書の再作成及び提出は不要（※）です。但し、既に実施済の審査に影響を及ぼさない軽微な変更等がある場合は再作成の上で提出いただいても結構ですが、この場合は事前にコンソーシアム事務局までご相談ください。

※（補足）応募時提出の「計画書」に基づき審査・採択内定をしていますので、基本的には応募時の申請内容（研究計画）に基づき研究をしていただくこととなります。

##### (2) 助成費の交付に係る請求書類及び提出部数

ア及びイの書類については、いずれかの提出となります。

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成金請求書（精算払い）[団体様式第1号、P.24]、1部

※「精算」により請求する場合は、事前にコンソーシアム事務局にご相談ください。

イ 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成金請求書（前期・後期概算払い）[団体様式第2号、P.25]「前期概算払い用」及び「後期概算払い用」、各一部

※「前期」と「後期」の2回に分けて交付します。

ウ 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成費支出計画書[団体様式第3号、P.28]、1部

##### (3) 提出期限及び提出先

◇提出期限

内定通知の際にお知らせします。

◇提出先

申請者（研究代表者）が在学する機関（大学、短期大学、高等専門学校）の  
コンソーシアム担当部署

※在学する機関を通じてコンソーシアム事務局に提出していただきます。

#### 4 申請及び請求書類の記入要領

- (1) 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成申請書[別記第1号様式、P. 20]について
  - ・書式は応募時の書式と同じです。
  - ・申請書（別記第1号様式）の申請年月日は記入日としてください。
  - ・「助成金〇〇〇円を交付されたく」の〇〇〇の金額欄に採択（助成）内定額を記入してください。

※その他の記載事項は、基本的には先の申請内容のとおりとしてください。研究課題の変更はできません。
- (2) 収支予算書[別記第3号様式、P. 23]について
  - ・書式は応募時の書式と同じです。
  - ・助成内定額に合わせて作成してください。
  - ・記入に当たっては、P. 11-12の「ウ 収支予算書[別記第3号様式、P. 23]について」を再確認いただき、内訳については積算根拠をわかりやすく記入してください。
  - ・助成の対象とならない経費がありますので、P. 12の【助成の対象とならない経費】に改めて目を通してください。

※備品は購入できませんので十分に留意ください。
- (3) 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成金請求書（精算払い）[団体様式第1号、P. 24]について

次行の助成金請求書（前期・後期概算払い）で請求する場合は不要です。
- (4) 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成金請求書（前期・後期概算払い）[団体様式第2号、P. 25]について
  - ・研究の性質上、研究に着手する前又は研究の途中で助成金の交付を必要とする場合は、助成金交付請求書（前期・後期概算払い）を提出してください。
  - ・「前期（11月末まで）に支出予定の経費についての請求書」と、「後期（12月から来年3月末まで）に支出予定の経費についての請求書」について、いずれも本団体様式第2号を用いてP. 26「①前期概算払い記入例」及びP. 27「②後期概算払い記入例」を参考にして作成してください。
  - ・次行の助成費支出計画書と齟齬のないように注意ください。
- (5) 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成費支出計画書[団体様式第3号、P. 28]について

※「11月までの支出予定の経費」と「12月から来年3月までの支出予定の経費」の額を明らかにするため、P. 29の「記入例」を参考にして記入してください。

## IV 研究内容の変更、中止又は廃止の承認申請手続き

### 1 変更、中止又は廃止について

助成決定後や研究の途中でやむを得ず研究内容の変更、中止又は廃止を行う必要が生じた場合は、承認申請手続（※）が必要となります。このような場合は必ず事前にコンソーシアム事務局に相談して下さい。

※承認にはコンソーシアム及び和歌山県の承認が必要となります。また、理由によっては使用済の研究費の返納等を伴う場合があります。

#### (1) 承認申請が必要な場合

ア 研究内容を変更しようとする場合

イ 研究経費の配分の変更（研究助成額の20%以下の増減を除く。）をしようとする場合

ウ 研究を中止又は廃止しようとする場合

#### (2) 「中止」、「廃止」について（定義）

・「中止」とは

何らかの事情により、研究を途中で取りやめる場合をいいます。

※この場合は、基本的には中止事由や中止までの研究成果に応じて 研究助成金の精算を行うこととなります。また、助成金の返納を伴う場合があります。

・「廃止」とは

何らかの事情により、それまで続けてきた研究の全てを取りやめることをいいます。

※この場合は、基本的には使用済の研究費を含めて助成金を全額返納いただくこととなります。

### 2 承認申請手続き

研究代表者は、次の書類を研究代表者が在学する機関を通じてコンソーシアム事務局に提出してください。なお、承認に当たりヒアリングや以下の書類以外の書類の提出を求める場合もあります。

#### (1) 変更の場合の申請書類及び記入要領

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成研究の内容変更申請書[別記第5号様式、P.30]

イ 計画書[別記第2号様式（その1・その2）、P.21-22]

ウ 収支予算書[別記第3号様式、P.23]

※記入上の注意

イ、ウ共に、助成内定後に再提出したものに変更箇所を二線で抹消の後に赤字で追記するなどにより、容易に変更箇所がわかるよう記入してください。また、変更がない場合も、空欄の個所に赤字で「変更なし」と付記ください。

#### (2) 中止の場合の申請書類及び記入要領

中止の場合の取り扱いについては、中止事由、研究の進捗状況などにより使用済みの研究費の返納、一部返納、助成金の全額返納など取り扱いが様々とな

りますので、その取扱いごとにイ～キのいずれかを提出していただくこととなります。

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成研究の中止・廃止申請書[別記第6号様式、P.31]

イ 計画書[別記第2号様式（その1・2）、P.21-22]

助成内定時に提出したもの

ウ 収支予算書[別記第3号様式、P.23]

助成内定時に提出したもの

エ 研究実績書[別記第8号様式（その1・2）、P.33-34]

中止時点までの研究実績を記入してください。

オ 収支決算書[別記第9号様式、P.35]

中止時点までの支出実績を記入してください。

カ 研究成果報告書の要旨[別記第10号様式、P.36]

中止時点までの研究成果を記入してください。

(3) 廃止の場合の申請書類及び記入要領

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成研究の中止・廃止申請書[別記第6号様式、P.31]

イ 収支予算書[別記第3号様式、P.23]

助成内定時に提出したもの

ウ 収支決算書[別記第9号様式、P.35]

廃止時点までの支出実績を記入してください。

(4) その他

承認申請手続き等の詳細については、変更等が必要な理由などにより異なりますので、申請の必要が生じた際にお知らせします。

## V 研究終了後の実績報告手続きについて

### 1 実績報告について

研究終了後、研究内容を取りまとめ研究報告を行っていただきます。

この研究報告を基に、コンソーシアム及び和歌山県では、研究が計画書に照らし適切に行われているか、助成金が交付条件等に従い適切に使用されているか等の検査（実地検査を行う場合もあります）を行います。その際に、経費の用途などで不明な点が出た場合は、研究代表者に事情聴取を行います。これらの結果不適切と認められた場合は、返納等を行っていただく場合があります。

なお、コンソーシアムが必要と認められた場合は、中間報告をしていただく場合があります。

### 2 実績報告手続きについて

#### (1) 報告書類及び提出部数

ア 大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成実績報告書[別記第7号様式、P.32]、4部

※1部は研究代表者印及び代表指導教員印のあるもの、他3部はそのコピーとする。

イ 研究実績書[別記第8号様式、(その1・2)、P.33-34]、4部

ウ 収支決算書[別記第9号様式、P.35]、4部

エ 研究成果報告書 [別記第10号様式、P.36]、4部

オ 研究成果の概要ポスター（研究内容や成果、活用計画を記載又は図解したものの、A4又はA3版、カラー版を基本とし、様式は任意とする。）1枚乃至2枚、2部

※補足；研究発表の時のポスターと考えていただければ結構です。

キ 上記エ・オの電子データ（WORD等の原データとし、PDFは不可）、各1式

※・エのデータは、研究成果を公表するためのものです。コンソーシアム及び和歌山県のホームページで公開します。

・オ及びオのデータは、「研究成果の公表(仮称)」として、地域への発信と地域での活用を目的とし、「実績報告書」に記載の活用計画に照らし、関係する県下の企業・自治体・団体等に向け発信（郵送等による）します。

#### (2) 提出期限及び提出先

◇提出期限

助成研究終了後25日以内、又は4月5日（土・日、祝祭日にあたる場合は、これらを除く翌平日）のいずれか早い日まで

◇提出先

申請者（研究代表者）が在学する機関（大学、短期大学、高等専門学校）のコンソーシアム担当部署

※在学機関を通じてコンソーシアム事務局に提出していただきます。

## VI 研究成果の公表等について

助成対象となった研究の研究実績書、研究成果報告書の要旨、研究成果報告等については、本機関及び和歌山県のホームページで公表すると共に、研究成果の概要ポスターについては、県下の関係企業・自治体・団体等に向け発信（郵送等による）します。

また、一般公開の研究成果報告会(注)を開催し、研究代表者又は共同研究者が必ず1名以上出席し、研究成果について報告していただきます。

※(注)この報告会は、審査会（優秀グループの表彰など）を含む場合があります。

なお、研究の成果として知的財産等が生じた場合、又は、生じると見込まれる場合は、必ず研究の実績報告の際に事前にコンソーシアム事務局まで連絡ください。

【(参考)研究成果の公表先 HP】

(コンソーシアムホームページ)

<http://www.consortium-wakayama.jp/promotion.html>

及び

(和歌山県ホームページ)

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020100/index.html>

## Ⅶ 事業スケジュール

事業スケジュールは、確定日付（下線・太字箇所）を除くほかは概ね下表のとおりです。

時 期	内 容
平成 28 年 6 月下旬	・ 募集開始
7 月下旬	・ 募集受付開始；平成 28 年 7 月 11 日（月） ・ 募集締め切り：平成 28 年 7 月 22 日（金） ※提出先：所属機関の担当部署 ・ 応募書類の事務局提出期限：平成 28 年 7 月 29 日（金） （所属機関担当部署 → 事務局）
8 月上旬～8 月下旬	・ 応募書類の事前審査（要件審査：事務局） ・ 書類審査（審査委員） ・ <del>プレゼンテーション審査</del> ※平成 28 年度は実施いたしません。
9 月上旬	・ 内定（審査結果）通知 ・ 内定に伴う助成申請書の提出（提出期限：9 月上旬）
9 月中旬	・ 助成金交付申請（コンソーシアム→和歌山県）
9 月下旬	・ 助成金交付決定（和歌山県→コンソーシアム） ・ 助成金の交付（第 1 回概算払い） [必要と認めたとき]
10 月上旬	・ 研究開始
12 月上旬	・ 助成金の交付（第 2 回概算払い） [必要と認めたとき]
平成 29 年 2 月中旬～3 月中旬	・ 研究成果報告会の開催
3 月末	・ 研究終了
4 月上旬	・ 実績報告の提出（4 月 5 日まで） ・ 助成金の交付（精算）

別記第1号様式

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成申請書

平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

申請者（研究代表者）

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：

㊟

連絡先電話番号：

e-mail：

代表指導教員

学校・学部名：

職名・氏名：

㊟

連絡先電話番号：

e-mail：

平成 年度において、下記研究課題について大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）の助成を受けたいので、助成金 円を交付されたく、関係書類を添えて申請します。

記

研究課題：

関係書類

- 1 計画書（別記第2号様式、**その1・2**）
- 2 収支予算書（別記第3号様式）

別記第2号様式

平成 年度計画書（変更後）（その1）

研究課題 (テーマ)				分類番号
研究代表者	学校名・学部名・学年		氏名(ふりがな)	生年月日
	連絡先	〒 住所 TEL( ) - e-mail		
助成実績	年度	平成	年度	
	助成金額	千円		
研究グループ	氏名	学校名・学部名・学年	役割分担	
	(研究代表者)			
(共同研究者)				
指導教員	氏名	学校名・学部名・職 (現在の専門)	役割分担	
	(代表指導教員)			
研究の概要	※簡潔に記入してください。			

※助成申請書に添付する場合は、「(変更後)」の部分を抹消してください。

(県補助金交付要綱第5条別記第1号様式類)

研究課題 (テーマ)	
見込まれる 本研究の成果	※本研究の成果が地域の活性化にどのように貢献できるかを簡潔に記入してください。
研究対象とする フィールド又は 連携・協働する 自治体・地域等	※研究対象とするフィールド（市町村名）又は連携・協働して研究を行う自治体若しくは地域等を記載し、そこを選定した理由を簡潔に記入してください。
これまでの 地域での 研究実績	※これまでに <u>地域における研究活動実績があれば</u> 、具体的に記入してください。
実施計画・方法	※研究目的を達成するための研究計画・方法を具体的に、なるべく箇条書きで記入してください。特に共同研究者や自治体・地域等とどのように連携して実施するのか分かるようにしてください。何月にどの程度まで研究を進めるのか、おおまかなスケジュールも記入してください。
本研究の 補足説明 (代表指導教員記入)	※本研究の必要性や期待される効果等について、簡潔に記入してください。

※助成申請書に添付する場合は、「(変更後)」の部分を抹消してください。

研究課題			
区分	金額（千円）	内 訳	
収 入	助成金		
	その他		
	計		
支 出	謝金		
	旅費		
	消耗品費		
	印刷製本費		
	その他		
	計		

※助成申請書に添付する場合には、「(変更後)」の部分を抹消してください。

※支出の内訳欄には、積算根拠(P. 6-8「ウ(イ)支出の部」を参照)を記入してください。

団体様式第 1 号

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）  
助成金請求書（精算払い）

平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

研究代表者

研究代表者住所：

学校・学部名：

学 年 ・ 氏 名：

㊞

代表指導教員

学校・学部名：

職 ・ 氏 名：

㊞

平成 年 月 日付けで額の確定のあった大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成金を下記のとおり交付されたく請求します。

研 究 課 題	
助 成 請 求 額	円
額 の 確 定 額	円
既 交 付 額	平成 年 月 日交付 円
	平成 年 月 日交付 円
	計 円

助 成 金 振 込 先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融機関名；</li> <li>・ 支店名；</li> <li>・ 預金種別；</li> <li>・ 口座番号；</li> <li>フリガナ</li> <li>・ 口座名義；</li> </ul>
-------------	---

（注）助成金振込先の記入について

助成金は、研究代表者が在学する機関（の口座）に振り込みますので、記入に当たっては、所属機関のコンソーシアム事業の担当者に確認の上で記入してください。

団体様式第 2 号

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）  
助成金請求書（前期・後期概算払い）

平成 年 月 日

研究代表者

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：



代表指導教員

学校・学部名：

職・氏名：



平成 年 月 日付で助成決定のあった大学等地域貢献促進事業助成金を  
下記のとおり交付されたく請求します。

研究課題	
助成決定額	円
既交付額	平成 年 月 日交付 円
	平成 年 月 日交付 円
	計 円
今回請求額	円
残 額	円

助成金振込先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関名；</li> <li>・預金種別；</li> <li>フリガナ</li> <li>・口座名義；</li> <li>・支店名；</li> <li>・口座番号；</li> </ul>
--------	--

（注）助成金振込先の記入について

助成金は、研究代表者が在学する機関（の口座）に振り込みますので、記入に当たっては、所属機関のコンソーシアム事業の担当者に確認の上で記入してください。

**(①前期概算払い記入例)**

団体様式第2号

○で囲んで下さい

↓  
大学等地域貢献促進事業助成金（学生共同プロジェクト研究）

請求書 **（前期）** 後期概算払い

空欄にしてください→ 平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

研究代表者

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：

印

代表指導教員

学校・学部名：

職・氏名：

印

空欄にしてください

↓

平成 年 月 日付けで助成決定のあった大学等地域貢献促進事業助成金を下記のとおり交付されたく請求します。

研 究 課 題	
助 成 決 定 額	内定通知の額を記入してください→ 金200,000円
既 交 付 額	<p>年 月 日交付 円</p> <p>年 月 日交付 円</p> <p>計 0円</p>
今 回 請 求 額	11月までの支出経費を記入してください→ 金80,000円
残 額	金120,000円

助 成 金 振 込 先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金融機関名；</li> <li>・ 支店名；</li> <li>・ 預金種別；</li> <li>・ 口座番号；</li> <li>フリガナ</li> <li>・ 口座名義；</li> </ul>
-------------	---

(注) 助成金振込先の記入について

助成金は、研究代表者が在学する機関（の口座）に振り込みますので、記入に当たっては、所属機関のコンソーシアム事業の担当者を確認の上で記入してください。

## (②後期概算払い記入例)

団体様式第2号

○で囲んで下さい

↓  
大学等地域貢献促進事業助成金（学生共同プロジェクト研究）

請求書（前期 **後期**概算払い）

空欄にしてください→ 平成 年 月 日

研究代表者

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：

印

代表指導教員

学校・学部名：

職・氏名：

印

空欄にしてください

↓

平成 年 月 日付けで助成決定のあった大学等地域貢献促進事業助成金を下記のとおり交付されたく請求します。

研究課題	
助成決定額	内定通知の額を記入してください→ 金200,000円
既受領額	日付けは空欄 年 月 日交付 ※1)金80,000円 年 月 日交付 円 ※1)11月末までの支出経費（第1回請求額）を記入してください 計 ※1)金80,000円
今回請求額	12月～3月の支出経費を記入してください→ 金120,000円
残 額	0円

助成金振込先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関名；</li> <li>・預金種別；</li> <li>フリガナ</li> <li>・口座名義；</li> <li>・支店名；</li> <li>・口座番号；</li> </ul>
<p>(注) 助成金振込先の記入について 助成金は、研究代表者が在学する機関（の口座）に振り込みますので、記入に当たっては、所属機関のコンソーシアム事業の担当者に確認の上で記入してください。</p>	

研究課題	収 入		支 出	
	収入予定額 千円	内 訳	支出予定額 千円	内 訳
平成28年 8月				
9月				
10月		助成金		
11月				
8月～11月 小 計				
平成28年 12月		助成金		
平成29年 1月				
2月				
3月				
12月～3月 小 計				
8月～3月 合 計				

- ※・各月毎の収入予定額、支出予定額を記入するとともに、内訳欄に、収入の場合は、助成金、事業収入、その他の内訳を、支出の場合は、謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、その他の内訳を記入してください。
- ・収支予算書の区分毎の予算額と一致するようにしてください。

(記入例)

団体様式第3号

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究） 助成費支出計画書

(単位：千円)

研究課題	収入		支出	
	収入予定額	内 訳	支出予定額	内 訳
研究課題	○○○○○○○○に関する研究			
平成28年8月	千円		千円	
9月				
10月	千円 80	助成金	80	旅費 60 消耗品費 20
11月				
8月～11月 小計	80		80	
平成28年 12月	120	助成金		
平成29年 1月			60	旅費 50 その他 10
2月			10	消耗品費 10
3月			50	印刷製本費 50
12月～3月 小計	120		120	
8月～3月 合計	200		200	

※・各月毎の収入予定額、支出予定額を記入するとともに、内訳欄に、収入の場合は、助成金、事業収入、その他の内訳を、支出の場合は、謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、その他の内訳を記入してください。

・収支予算書の区分毎の予算額と一致するようにしてください。

別記第5号様式

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成研究の内容変更申請書

平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

申請者（研究代表者）

研究代表者住所：

学校・学部名：

学 年 ・ 氏 名：

㊞

連絡先電話番号：

代表指導教員

学校・学部名：

職 名 ・ 氏 名：

㊞

連絡先電話番号：

平成 年 月 日付けで助成決定のあった平成 年度大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）の助成については、下記のとおり変更したいので、関係書類を添えて申請します。

記

研究課題		
変更の内容	変更前	
	変更後	
変更の理由		
添付書類	1 変更計画書 2 変更収支予算書	

別記第6号様式

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成研究の中止・廃止申請書

平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

申請者（研究代表者）

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：

㊞

連絡先電話番号：

代表指導教員

学校・学部名：

職名・氏名：

㊞

連絡先電話番号：

平成 年 月 日付けで助成決定のあった平成 年度大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）の助成については、下記のとおり中止・廃止したいので、申請します。

記

研究課題	
助成決定額	円
既 交 付 額	平成 年 月 日交付 円
	平成 年 月 日交付 円
	計 円
使用状況	支出額 (うち利息分) 円
	未支出額 円
研究中止・廃止の発生日	平成 年 月 日
研究・中止・廃止の理由	

※「中止」又は「廃止」のいずれかを2線で抹消ください。

別記第7号様式

大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）助成実績報告書

平成 年 月 日

高等教育機関コンソーシアム和歌山会長 殿

申請者（研究代表者）

研究代表者住所：

学校・学部名：

学年・氏名：

㊟

連絡先電話番号：

e-mail：

代表指導教員

学校・学部名：

職名・氏名：

㊟

連絡先電話番号：

e-mail：

平成 年 月 日付けで助成決定のあった大学等地域貢献促進事業（学生共同プロジェクト研究）の助成について、その実績を関係書類を添えて報告します。

記

研究課題：

関係書類

- 1 研究実績書（別記第8号様式、**その1・2**）
- 2 収支決算書（別記第9号様式）
- 3 研究成果報告書（別記第10号様式）

別記第8号様式 (その1)

平成 年度研究実績書 (その1)

研究課題			
研究代表者		学校名・学部名・学年	氏名(ふりがな)
			生年月日
		〒 連絡先 住所	TEL( ) - e-mail
研究グループ	氏名 (研究代表者)	学校名・学部名・学年	役割分担
	(共同研究者)		
指導教員	氏名 (代表指導教員)	学校名・学部名・職 (現在の専門)	役割分担
研究内容		※簡潔に記入してください。	

## 別記第 8 号様式（その 2）

平成 年度研究実績書（その 2）

研究課題	
得られた成果	※具体的に記入してください。
研究成果の活用方法	※この研究成果を地域に報告・提案することにより、地域の活性化にどのように貢献できるか具体的に記入してください。
指導教員所見 (代表指導教員記入)	※本研究の成果、今後の研究活動に向けて

研究課題			
区 分		金 額 円	内 訳
収 入	助 成 金		
	そ の 他		
	計		
支 出	謝 金		
	旅 費		
	消 耗 品 費		
	印 刷 製 本 費		
	そ の 他		
	計		

研究代表者

学校名・学部名・学年・氏名

共同研究者

学校名・学部名・学年・氏名

指導教員

学校名・学部名・職・氏名

**研究課題名**

- 1 目的
- 2 実施方法
- 3 結果
- 4 その他

注) 用紙はA 4 版縦長横書きとすること。(写真、図表の挿入可)